

●一般質問で切実な願いの実現を迫りました



東郷正明

文教福祉常任委員会。議会改革特別委員。

滞納国保税、分納誓約すれば延滞金の割増は停止すべき

高い国民健康保険税により、税滞納は15,062件（平成27年度）にもなっています。その結果、39世帯に資格証明書（保険証の取り上げ）を発行。さらに、給与・預金・生命保険の差押えも19件（国保税を含まないものを入れれば35件）が行われています。しかも、滞納者が「分納誓約」をした場合でも延滞金の割増が行われています。「分納誓約がされれば延滞金割増は停止すべき」。また、「過酷な差し押さえはすべきでない」と強く求めました。

就学援助、入学準備金は3月に支給を

格差と貧困が広がるなか、生活困窮世帯に義務教育費用を補助するのが就学援助制度。野洲市でも小中学校で432人が受けしており、全児童生徒の約1割に当たります。

これを受け国は、新入学時に支給されるべき入学準備金が7月にしか払われていないことについて、「必要とする時期に速やかに支給するよう（平成27年8月）の通知を市町村に出しました。

しかし、野洲市では通知が出された現在でも入学時に支給されず、7月となっています。「新学期は多額の費用が必要。国の通知通り、入学時に入学準備金を支給すべき」と求めました。これに対して教育委員会は「改善へ、検討する」と答弁しました。



太田健一

総務常任委員会。議会改革特別委員会副委員長。湖南広域行政組合議員

永原御殿跡は史跡整備による被害対策を！

永原御殿後の竹林や雑木林にはカワウなどの野生動物が棲みつき、地域住民への騒音被害や糞尿による悪臭被害、さらには気管支炎などの健康被害まで起きています。竹の根が近隣住民の堀に沿って進入もし、地域での大きな課題となっています。この竹林は市の所有地では無く民地である為、解決手段が複雑化していますが、単なる竹林の伐採だけでは根本的な解決にはなりません。永原御殿は歴史的にも価値の有る貴重な野洲市の財産であり、文化財として保護管理を行う事によって野生動物の被害を無くし、文化や観光振興と言う観点で地域活性化へも繋がる事を求めました。

それに対して『地域住民や地権者との協議を続ける中で国の史跡指定を目指して取り組んでいるが、地元の同意も必要で一定の年月が必要となり、それとは別に、9月に県の事業としての申請を行う予定で、竹林伐採を含めた文化財としての整備を行いたいと考えている。』との答弁でした。

その他、「南桜のバス停改善」と「マートメータによる電磁波過敏症への健康被害対策】を質問。



野並享子

環境経済建設常任委員会委員長。議会運営委員会、議会だより編集委員

市民病院の建設と今後について

昨年9月、市民病院の基本設計予算が否決されてから、多くの市民、団体が建設求め運動を展開され、今年3月基本設計予算が可決されました。

多くの市民は市民病院の建設を待ち望んでいます。駅前は交通弱者にとって最良の場所。駅前の賑わいを創出することで、更に公立病院であるからこそ、市民の命・健康を守る医療サービスを構築できます。

7月11日には基本設計の業者も決定さ

れ、提案の中には、5階建てで、1階にはレストラン、コンビニ、2階は診察室と地域包括ケアなど配置し、医療、保健、介護の連携ができる仕組みになっています。また20年後のヘルスケアタウンとして、駐車場をセントラルバックし、真ん中に広い広場があり、夢のある計画となっています。設計にあたっては、職員や市民の声を聴き進めていくべきと求めました。

当局は「野洲病院の職員とは、レイアウト、運営など事前のヒヤリングはすでに行っている。市民に対しては、9月22日のフォーラムで説明し、来年2月ごろ設計の途中段階で市民説明会を行い、立体画像を使い双方向で意見を出し合えるようにする。」と答弁しました。

その他【地震災害による仮設住宅の対応。教職員の過重負担の解消】など質問。

主な議案・請願・意見書の態度

8月議会では市長23議案、議員1議案、提案されました。そのうち共産党市議団は4議案に反対し、19議案に賛成しました。意見書7件が提案されました。共産党市議団が提案した意見書4件と野洲ネットが提案した意見書2件は否決されました。

件名	提案者	共産党	公明党	野洲ネット	野洲政風会	野洲政友会	無会派
27年度一般会計歳入歳出決算の認定	市長	●	●	●	○	○	○
27年度国保・介護・後期高齢者特別会計歳入歳出決算の認定	市長	●	●	●	○	○	○
28年度野洲市一般会計補正予算	市長	○	○	○	○	○	○
同和問題の解決に逆行する「部落差別固定化法案」の制定を行わないことを求める意見書	共産党	○	○	○	●	●	●
「要介護1・2」の「保険外し」を中止し、安心・安全の介護保障の実現を求める意見書	共産党	○	○	○	○	●	●
臨時国会でTPP協定を批准しないことを求める意見書	共産党	○	○	○	●	●	●
米軍北部訓練場ヘリパッド建設に関する意見書	共産党	○	○	○	●	●	●
南スーダンへの「安保法制」発動を許さない意見書	丸山敬二	○	○	○	●	●	●
緊急事態条項の新設に反対する意見書	山本剛	○	○	○	●	●	●
返済不要の「給付型奨学金」の創設及び無利子奨学金の拡充を求める意見書	矢野隆行	○	○	○	●	●	●

8月議会報告 暮らしの要求実現へ願いを届けました



野洲川北流公園の築山

設計委託料全額削除ですが……

28年度補正予算で、野洲川北流公園（市三宅の北側）の設計委託料3300万円が全額削減されました。

国・県有地に、野洲川河川公園の野球場の移設という計画と、ボランティアの方の自然林や築山を、子どもたちの環境学習のために残して欲しいという思いが、ぶつかり合って折り合いをつけることなく、計画は中止となりました。

国は防災機能の整備を進めており、野球場移転を求める市民と、子ども達の環境学習のために河畔林整備をしておられる市民と、国の三者の合意での実現が求められます。

環境経済建設常任委員会分科会での質疑で、行政は「公園整備は中止したが、国が防災機能の整備検討されるときに、市として別途土地利用ができるのか協議していく」と答弁しました。

8月定例市議会は8月24日から9月16日まで開催されました。共産党市議団は、暮らしの大変な時、市民の切実な願いを一般質問や意見書提出で実現を求めました。8月議会は平成27年度決算審議が行われましたが、安倍内閣の社会保障切り捨てから市民の暮らしと自治体を守り、市民の願い優先の行財政を進めることを求めました。

平成27年度では、長年、地域や保護者の切実な要求であった危険な「柿木原踏切」の改修。学童保育所で同居家族に65歳未満の同居者がいる場合入所が認められなかつた年齢制限が撤廃されたこと。ゆきはた子ども園の建設、全国でも注目されている生活困窮者に対する「パーソナルサポートサービス事業、同和行政の個人施策の废止など市民の願いが実現しました。

一方、不況で苦しむ市内中小企業対策が弱く、大企業を優遇する工業振興助成金の交付。個人情報漏洩の危険性を大きくはらむ、マイナンバー制度の導入、個人施策は廃止しつつも、特定の運動団体追随の同和行政の継続など、市民の暮らしを守る市政に反しています。

安倍内閣は、社会保障の切り捨てを行い、その税増税、社会保障の切り捨てを行っている。これらは、社会保障の為といって消費税増税、社会保障の切り捨てを行っている。そのため、社会保障の負担が増えることになります。しかし、社会保障の負担が増えることは、社会保障のための税金が増えることになります。そのため、社会保障の負担が増えることは、社会保障のための税金が増えることになります。

平成27年度決算

柿木原踏切の拡幅安全対策 学童保育の入所基準緩和 ゆきはた子ども園の建設

8月議会では前年度決算が審議されました。

一方で大企業減税を行いました。また、市民の実質賃金マイナスや年金の引き下げなど暮らしを脅かしています。これにより、個人市民税の伸びはわずかで市財政に影響を受けています。

こんな時だからこそ、自治体と市民を守る市政運営が求められていることを指摘し、決算認定には反対しました。

高い国保税・介護保険料引き下げを

野洲市の国民健康保険税は県下19市町で2番目に高い保険税となっています。これは一般会計から国保会計への繰り入れを減らしながら国保税の大幅値上げをしたことになります。一方で2億円以上の基金が貯め込まれています。介護保険料も平成27年度に11%の大幅値上げが行われました。その結果、国保同様、基金が年々増えた。そもそも国が負担割合を減らして来たことに要因がありますが、国に対して負担割合を増やす事を求め、基金を活用した保険料の引き下げで被保険者の負担軽減を行なうべきと指摘しました。

市民の切実な願いの意見書を、保守会派が反対

8月議会では共産党野洲市議団として4本の意見書と2本は野洲ネットとの共同提案の意見書を提出しました。

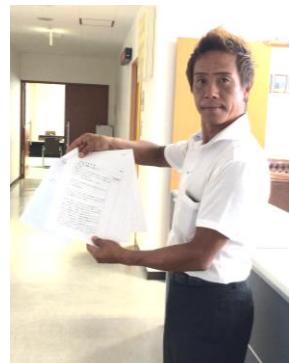
- ①臨時国会でTPP協定を批准しないことを求める意見書
- ②部落差別固定化法案の制定を行わない意見書
- ③要介護1,2の介護外し中止を求める意見書
- ④米軍北部訓練場ヘリパット建設に反対の意見書
- ⑤南スダーンへの「安保法制」発動を許さない意見書
- ⑥緊急事態条項の新設に反対する意見書

これらの意見書は、市民のみなさんの切実な願いです。野洲市民の中には自衛隊員の家族の方もおられ、「安保法制」の発動には心痛めておられます。介護保険の要介護1,2の保険外しも、7割の方が排除されることになり大きな問題であります。しかし市民の願いが否決され残念でなりません。

市民の立場や想いに寄り添った判断を行い、個々の議員が市民の声を国に届けていく事が必要なのではないでしょうか。（採決状況は裏面を参照）

スマホでコミバス運行見れます

10月からコミュニティバスの運行状況をスマートフォンで確認できるようになります。各コースのIDを10月1日の市のホームページで掲載。スマートフォンがない方は、市の生活安全課に電話してもらえば、今どこを走っているのか教えてもらえます。



これでは暮らし直撃！ 水道料金の大幅値上げ計画

来年4月から水道料金を14%引き上げる計画が、上水道運営委員会から出されました。平成29年から33年の5年間で、施設整備に16億円。今後30年間で76億円が必要であり、基金積み立てゼロ円の状況の中、29年4月から14%の値上げ。しかし、上水道運営委員会も8月9日の答申で、改定に当たっては、生活困窮者の負担軽減が図れるように考慮することと付帯意見が付けられています。

市政・市議会への
ご意見・ご要望を
お寄せください

野並享子 北野 1-7-10 (電話・FAX) 587-0985
太田健一 近江富士 2-11-25 (電話・FAX) 588-3169
東郷正明 比江 864 (電話・FAX) 589-4158

市議団ホームページ

野洲市議団で検索を